

## 多古町<sup>かもだい</sup>加茂台遺跡(2)

事業名 圏央道（大栄～横芝）

所在地 香取郡多古町間倉字加茂台607ほか

調査期間 平成29年4月6日～平成29年5月31日

調査面積 4,383㎡

主な時代 旧石器時代、縄文時代、古墳時代

主な遺物 旧石器時代石器、縄文時代土器・石器、古墳時代土師器・須恵器・鉄製品・石製品・ガラス玉

### 注目される遺構

加茂台遺跡(2)の調査では、二重周溝の古墳が発見されました。周溝の内側で直径23mを測る中型の古墳です。墳丘は残っていませんでしたが、本来は低い盛り土があったと思われます。南側に石棺がありますが、畑の耕作による攪乱が激しく底石しか残っていませんでした。

底石の上から長頸壺の肩部片が出土しており、この土器からは、7世紀代の古墳と考えられます。

古墳のほかには、旧石器時代の石器出土地点が3か所、縄文時代の陥穴が2基みつかりました。



上 二重周溝の円墳 (SM001) 全景 南西から



左 埋葬施設 全景 上から